

平成23年度事業計画

1. 事業方針

とっとり総研は、名称や事業領域の追加や変更もあったが、地域の豊かな生活を維持、充実するために客観的視点から研究を実施しさらにその成果を実践的に展開し成果を発信することで、地域社会形成に貢献することを目指し活動してきた。23年度事業ではこうした地域シンクタンクに求められる本来機能を充実させつつ事業に取り組む。

地域社会の労働人口の流出入や高齢化、中山間地域や市街地における課題は、経済や産業・企業動向、法制度など社会現象と一体であり、これらを個別に切り離しても問題は解決しない。とっとり総研の事業はこれらを巨視的に研究するとともに個別課題を研究し対応策を実践的に展開することで地域社会形成に貢献することを目指す。

23年度事業は、従来取り組んできた巨視的研究と個別課題を考究する調査研究および対策を実践的に策定展開していく地域連携事業を引き続き拡充することを方針とする。

また、とっとり総研が創設以来蓄積してきた膨大な活動成果や知識、ノウハウは地域の貴重な資産であり、23年度事業ではこれら資産の集成、記録、発信に注力する。

事業の実施は、事業方針を基本として、地域ニーズ等に応じ事業の追加、修正を行いつつ本旨に沿った調査研究および地域連携事業に取り組む。

2. 事業内容

2.1 調査研究事業

2.1.1 地域課題の研究、発信

- (1) 鳥取県の制度と地域経営
- (2) 地域経済と企業経営
- (3) 史跡（鳥取城跡）活用
- (4) 公立施設の指定管理状況
- (5) 山陰海岸ジオパークの地域特性の研究
- (6) 県内市町村における医療保険制度および医療体制
- (7) 地域における金融証券化とリレーションバンキング
- (8) 路線バスの運営関係調査
- (9) 地域の社会保障制度の研究
- (10) 地域の安全体制整備の研究

2.1.3 地域連携事業等の準備また成果の研究的分析

- (1) ハード整備が商店街に与える影響
- (2) 五臓圓ビル利用実態調査
- (3) 持続的発展可能なジオパークの形成に向けた実証研究（海外等調査）
- (4) ジオパークにおける活用可能な地域資源の研究

2.1.4 研究・事業成果の発刊

- (1) 研究員等個人単著として発刊（とっとり総研叢書）
- (2) 研究・事業成果の集成

2.2 地域連携事業

2.2.1 県内組織からの要請への対応

－公募連携事業（資本整備等を含む実践的事業協力）

- (1) 空き家・空地活用プロジェクト
- (2) 集落の生活インフラ整備プロジェクト
- (3) 新規公募案件

－行政・経済団体・他組織からの要請事業（実践的調査・分析、各種活動参加、行政との共同事業、講演、委員会等）

- (1) 旧美敷水源地水道施設の利活用
- (2) 郡家駅前活性化事業委員会（軽トラ市、かかしのまちづくり）
- (3) 鳥取市スマートグリッドタウン形成
- (4) 鳥取市企業誘致

2.2.2 とっとり総研の研究視点からの実践的連携事業

- (1) 木原集落における生活インフラ（除雪システム）の実証実験
- (2) 倉吉市空き地活用プロジェクト
- (3) 米子紺屋町商店街活性化事業

2.2.3 中山間地域活性化支援員と研究員との連携事業実施

県内四地区での実施

2.2.4 人材育成事業

とっとり総研アカデミー

2.3 海外交流事業

江原発展研究院等との交流を維持する

2.4 情報発信事業

2.4.1 各種成果発刊

- (1) TORCレポート・サマリー（主な年度研究・事業成果集約）
- (2) 事業活動報告書、中山間地域活性化支援員活動報告書
- (3) とっとり総研叢書発刊
- (4) とっとり総研の研究・活動アーカイブ編纂

2.4.2 情報発信事業

- (1) 研究報告会開催
- (2) とっとり総研サロン開催